

京都市子どもの見守り活動支援事業補助金交付要綱 各種様式

記入例

京都市子どもの見守り活動支援事業補助金交付申請書

令和〇年〇〇月〇〇日

京都市長 宛

団体名 NPO法人*****

代表者役職名・氏名

理事長 京都 太郎

下記により京都市子どもの見守り活動支援事業補助金の交付を受けたい
業補助金交付要綱第11条の規定により、関係書類を添えて申請します。

記

補助金種別 (該当に○をしてください)	<input checked="" type="radio"/> 【全体見守り型補助金】 <input type="radio"/> 【個別支援型補助金】
申請額	<u>199,200</u> 円 (1,000 円未満切り捨て) ※【個別支援型補助金】については、実績払分も含めて申請してください。
事業名	<u>***子ども食堂</u>
関係書類	<input type="checkbox"/> 事業計画書 (第2号様式) <input type="checkbox"/> 事業予算書 (第3号様式) <input type="checkbox"/> 団体等の規約・会則、役員名簿 <input type="checkbox"/> 個人情報保護に関する誓約書 (第4号様式)
添付書類	<input type="checkbox"/> 団体の概要や事業内容が分かる書類

個別支援型補助金の場合
※次ページの第2号様式の記載例を基にした例
○個別支援対象者数：10人=63,000円
○実績払分：
・家庭訪問による把握
2人×月1回(×1,300円)×12月=31,200円
・それ以外による把握
10人×月2回(×700円)×12月=168,000円

全体見守り型補助金の場合
○事業の実施頻度に応じて、以下のどちらかを記載
・月複数回実施=126,000円
・月1回実施 = 63,000円

次ページの第2号様式(事業計画書)の「事業の内容」欄に記載の④⑤に対応する金額を指します。
<参考：補助金額表(募集要綱抜粋)>

④ **補助対象者数** ※4半期毎の名簿の平均
5～10人： 63,000円
11～20人： 126,000円
21～50人： 252,000円
51～100人： 628,000円
101人～： 1,256,000円

⑤ **実績払い分**
家庭訪問による把握：1,300円/人×回数
それ以外による把握： 700円/人×回数
※1人につき合計で月4回までを上限

<団体の概要>

団体所在地	(〒*****) <u>京都市中京区***町**番地</u>
電話	<u>***-****-****</u>
E-Mail	<u>(PCのメールアドレス等を記入)</u>

<交付申請書に関する問合せ先> ※上記の代表者及び団体の概要と同じ場合は記入不要

担当者氏名	<u>都 京子</u>	郵送先	(〒 -) <u>上記に同じ。</u>
電話	<u>上記に同じ。</u>	E-Mail	<u>上記に同じ。</u>

本市から申請書の記載内容などについて、質問などの御連絡をさせていただく場合があります。

事業計画書（京都市子どもの見守り活動支援事業補助金）

団体（法人）の名称	NPO法人*****	
事業名	**子ども食堂	
実施区分 (次のいずれかに○をつけてください。複数可)	<input checked="" type="radio"/>	子どもの居場所づくり（子ども食堂、学習支援等）
	<input type="radio"/>	子育て家庭への食品配送事業
	<input type="radio"/>	その他（内容： ）
活動頻度	子ども食堂：月に2回（第2・第4水曜日） 訪問による見守り活動：月1回	
活動場所	住所	〒***-*** 京都市中京区***町**番地
	施設名	**子ども食堂
1回あたりの利用人数等	<子どもの居場所づくり（子ども食堂等）> 10人 <食品配送> 一世帯	
事業の内容	① 通常事業の内容 月に2回、地域の子どもや子育て世帯の居場所として、**子ども食堂を開催し、食事や各種イベントなどを通じて、子どもや子育て世帯を地域で見守るとともに、孤立、経済的困窮、虐待リスク等の課題を把握し、必要に応じて行政や関係機関等の支援につなげる。	
	② 利用者負担 なし ・ <input checked="" type="checkbox"/> (200円/回) ③ 見守り活動の具体的内容（見守りの方法、頻度など） ・ 月2回の子ども食堂の参加時の様子を見守ることで、状況を把握する。 ・ 経済的困窮、ひとり親、孤立、児童虐待などの課題を抱え、特に面談による見守りを要する子どもについては、月に1回、家庭訪問により見守りを行う。	
	<以下、④～⑥は【個別支援型補助金】のみ記入してください。	
	④ 個別支援の対象者数（見込み）	
	対象者数 (補助上限基本額の基礎となる子どもの数)	10人
	⑤ 面談による見守り（実績払分）の実施計画	
	家庭訪問による把握	2人 × 月1回
	それ以外による把握	10人 × 月2回
	⑥ 個別支援の対象とする理由 (例：経済的困窮、ひとり親、孤立、児童虐待など) 上記④に掲げた個別支援の対象者については、それぞれが経済的困窮、ひとり親、孤立、児童虐待などの課題を抱えているため。	

申請時点の見込人数を記入。
 ※実際の支給金額は、4半期毎に報告いただく名簿の平均人数で決定

事業予算書（京都市子どもの見守り活動支援事業補助金）

団体名	NPO法人*****
事業名	**子ども食堂

1 収入 (単位：円)

項目	内訳（名称、単価、数量等を具体的に記入）	金額
京都市子どもの見守り活動支援事業補助金		194,000
上記以外の行政補助金	**補助金	100,000
民間助成金	**助成金	100,000
寄付金等		50,000
参加費（利用者負担）等	参加費200円/回×参加者（見込）10人×2回/月×12月	48,000
自己負担		54,000
収入合計		546,000

2 支出 (単位：円)

項目	内訳（名称、単価、数量等を具体的に記入）	金額
人件費	ボランティアスタッフ謝礼2,000円/×5人×24回	240,000
通信運搬費	ガソリン代 40,000円 案内チラシ等郵送費 10,000円	50,000
使用料・賃借料	会場使用料5,000円×24回	120,000
食材購入費	400円/食×10人/回×24回	96,000
需用費	コップ、紙皿、ごみ袋代等	10,000
光熱水費	水道、電気、ガス代等	15,000
その他経費	書類・チラシ印刷費	15,000
支出合計		546,000

※必要に応じて、行を追加してください。

※この様式により難しい場合は、この様式に準じた別の様式を使用することができます。

個人情報保護に関する誓約書

京都市子どもの見守り活動支援事業補助金の交付申請に当たり、下記事項について誓約します。

記

- 1 個人情報の保護に関する法律及び京都市個人情報保護条例を遵守する。
- 2 個人情報を保護するため、資料やデータ管理等について、保管場所や保管方法等に万全の注意を払う。
- 3 補助対象事業の実施に当たって、直接又は間接的に知り得た個人情報について、補助対象事業の目的以外で使用しない。
- 4 補助対象事業の実施に当たって、直接又は間接的に知り得た個人情報を第三者に漏らさない。
- 5 上記1～4について、補助対象事業に携わる職員やボランティアその他関係者に対しても、指導及び監督を行う。
- 6 上記1～5について、事業終了後も同様とする。

令和*年**月**日

京都市長 宛

(誓約者)

団体住所 京都市中京区***町**番地

団体名 NPO法人*****

代表者役職名・氏名 理事長 京都 太郎

第12号様式(第15条関係)

第*四半期 報告書(団体名: NPO法人****)

四半期ごとに提出いただく様式です。

※最終の四半期報告は3月31日が提出期限

見守り活動内容(月1回以上の見守り活動の実施状況を具体的に記載してください)

(1)子ども食堂

子ども食堂の開催時に、食事や各種イベントなどを通じて、子どもや子育て世帯を地域で見守るとともに、孤立、経済的困窮、虐待リスク等の課題を把握した子どもについては、個別面談を行うほか、状況に応じて必要な支援制度へつないだ。

(2)個別支援対象者の見守り

子ども食堂において課題を把握した子どものうち、子ども食堂に来なくなった子どもをはじめ、特に家庭への訪問が必要な子どもに対し、月1回を目途に家庭訪問を行い、個々の状況に寄り添いつつ、状況に応じた支援制度につないだ。

対象者名簿

整理番号	氏名	年齢(学年)	居住の行政区	見守り(個別支援)が必要と判断する理由 (例:経済的困窮、ひとり親、孤立、児童虐待、育児不安など)
1	AA AA	8(小2)	* 区	経済的困窮
2	BB BB	9(小3)	* 区	ひとり親、経済的困窮
3	* * * *	10(小4)	* 区	孤立
4	* * * *	11(小5)	* 区	児童虐待
5	* * * *	12(小6)	* 区	育児不安
6	* * * *	13(中1)	* 区	* *
7	* * * *	14(中2)	* 区	* *
8	* * * *	15(中3)	* 区	* *
9	* * * *	16(高1)	* 区	* *
10	* * * *	17(高2)	* 区	* *

最終の実績報告時に、本名簿の合計人数の四半期平均を、補助金支給対象の人数として算定します。

例:第1四半期(10人)第2四半期(8人)

第3四半期(15人)第4四半期(9人)

の場合、支給対象人数は10.5人⇒10人

※小数点以下、切り捨て

※人数に合わせて行を追加してください。

第13号様式(第15条)

第*四半期

個別支援報告書

(団体名: NPO法人*****)

四半期ごとに提出いただく様式です。

※最終の四半期報告は3月31日が提出期限です

対象者を面談により状況を把握した結果について、以下のとおり報告します。

※第12号様式の対象者名簿と対応する整理番号を記入

整理番号	氏名	確認日	方法 (家庭訪問又はそれ以外)	子どもの状況 (様子、状況、気になる点など)	備考 (支援機関や行政支援につないだ場合など)
1	AA AA	令和5年4月12日	それ以外	子ども食堂において把握。ごはんを残すなどいつもよりも元気がない様子。	
2	BB BB	令和5年4月12日	それ以外	子ども食堂において把握。いつもより口数が少なく、最近学校を休みがちであるとのこと。今後の様子を要観察。	
3	CC CC	令和5年4月12日	それ以外	子ども食堂において把握。元気がないように見えたが、本人に聞くと大丈夫とのこと、周りの友達ともよく話していた。	
4	* * * *	令和5年4月12日	それ以外	*****	
5	* * * *	令和5年4月12日	それ以外	*****	
6	* * * *	令和5年4月12日	それ以外	*****	
7	* * * *	令和5年4月12日	それ以外	*****	
8	* * * *	令和5年4月12日	それ以外	*****	
9	* * * *	令和5年4月12日	それ以外	*****	
10	* * * *	令和5年4月12日	それ以外	*****	
1	AA AA	令和5年4月19日	家庭訪問	家庭でもごはんを残すなど元気がなく、両親も心配している様子で学校にも相談しているとのこと。	両親に何か困ったことがあれば相談するようにアドバイスした
2	BB BB	令和5年4月25日	家庭訪問	元気そうな様子。学校も最近は行っている。ひとり親世帯かつ経済的に困窮しており、食糧品が少ない。	***制度を紹介
3	CC CC	令和5年4月26日	それ以外	元気な様子で、学校での楽しかった出来事等を話してくれた。	
4	* * * *	令和5年4月26日	それ以外	*****	
5	* * * *	令和5年4月26日	それ以外	*****	
6	* * * *	令和5年4月26日	それ以外	*****	
7	* * * *	令和5年4月26日	それ以外	*****	
8	* * * *	令和5年4月26日	それ以外	*****	
9	* * * *	令和5年4月26日	それ以外	*****	
10	* * * *	令和5年4月26日	それ以外	*****	
....					
....					
....					

※人数に合わせて行を追加してください。

京都市子どもの見守り活動支援事業実績報告書

令和**年**月**日

京都市長 宛

団体名 NPO法人*****

代表者役職名・氏名

理事長 京都 太郎

本市から交付した交付決定書
(第5号様式)の記載を転記

令和**年**月**日付第***号により交付の決定を受けた京都市子どもの見守り活動支援事業補助金について、京都市子どもの見守り活動支援事業補助金交付要綱第15条の規定により、次のとおり関係書類を添えて報告します。

1 実績額 金 _____ 円

2 交付予定額 金 _____ 円

3 添付書類

- (1) 年次報告書（第15号様式）
- (2) 事業決算書（第16号様式）
- (3) 領収書等、活動の実施に要した経費を支払ったことを証する書類の写し
(※日付、宛名、領収者（団体名）、品物名（但し書き）の記載が必要)
- (4) 事業の実施状況がわかる資料（記録写真、作成したチラシ、パンフレット、事業が掲載されたホームページの記事等）
- (5) その他市長が必要と認める書類

必要な情報が記載された領収証等がないなどの場合、補助対象経費とは認められませんので御注意ください。

個別支援型補助金に申請の場合は、合わせて
第4四半期分の対象者名簿（第12号様式・第13号様式）
についても御提出ください。

年次報告書 (京都市子どもの見守り活動支援事業補助金)

団体名	NPO法人*****						
事業名	**子ども食堂						
事業実施日	<p>(1) 子ども食堂 月に2回(第2・第4水曜日)実施。令和8年4月～令和9年3月まで、計48回実施した。</p> <p>(2) 個別支援対象者の見守り 月に1回(任意の日)実施。令和8年4月～令和9年3月まで、計12回実施した。</p>						
事業実績 (見守り活動について、具体的に記載してください。)	<p>(1) 子ども食堂 子ども食堂の開催時に、食事や各種イベントなどを通じて、孤立、経済的困窮、虐待リスク等の課題を把握した子どもについては、個別面談を行い、継続的に見守り活動を実施。</p> <p>(2) 個別支援対象者の見守り 子ども食堂において課題を把握した子どものうち、子ども食堂に来なくなった子どもをはじめ、特に家庭への訪問が必要な子どもに対し、月1回を目途に家庭訪問を行い、個々の状況に寄り添いつつ、継続的に見守り活動を実施。</p>						
支援の輪サポート事業の研修会・交流会への参加状況	<p>令和*年*月*日開催：子どもの居場所づくりシンポジウム 令和*年*月*日開催：子どもの居場所づくり学習会 令和*年*月*日開催：**区子どもの居場所づくり意見交換会</p>						
【個別支援型補助金のみ】 見守り対象者等について	<p>① 個別支援の対象者数 (補助上限基本補助額分) ※ 四半期毎の名簿 (第12号様式) の平均人数を記載</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">対象者数</td> <td style="width: 50%; text-align: right;">10 人</td> </tr> </table> <p>② 面談による見守り (実績払分)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">家庭訪問による把握</td> <td style="width: 50%; text-align: right;">2 人 (合計 20 回)</td> </tr> <tr> <td>それ以外による把握</td> <td style="text-align: right;">10 人 (合計 120 回)</td> </tr> </table> <p>【備考欄】</p>	対象者数	10 人	家庭訪問による把握	2 人 (合計 20 回)	それ以外による把握	10 人 (合計 120 回)
対象者数	10 人						
家庭訪問による把握	2 人 (合計 20 回)						
それ以外による把握	10 人 (合計 120 回)						

※この様式により難しい場合は、この様式に準じた別の様式を使用することができます。

第16号様式（第15条関係）

事業決算書（京都市子どもの見守

団体名	NPO法人*****
事業名	**子ども食堂

【個別支援型補助金の場合】

- 前ページの年次報告書（第15号様式）を基に記入（記入例を基にした例）
- ・個別支援対象者数：10人＝63,000円
- ・実績払分：
 - 家庭訪問による把握
(20回×1,300円＝26,000円)
 - それ以外による把握
(120回×700円＝84,000円)

【全体見守り型補助金の場合】

- 交付申請書（第1号様式）に記載した金額を記入

1 収入

項目	内訳（名称、単価、数量等を具体的に記入）	金額
京都市子どもの見守り活動支援事業補助金		173,000
上記以外の行政補助金	**補助金	200,000
民間助成金	**助成金	100,000
寄付金等		25,000
参加費（利用者負担）等	参加費200円/回×参加者（見込）10人×2回/月×12月	48,000
自己負担		0
収入合計		546,000

2 支出

（単位：円）

項目	内訳（名称、単価、数量等を具体的に記入）	金額
人件費	ボランティアスタッフ謝礼2,000円/×5人×24回	240,000
通信運搬費	ガソリン代 40,000円 案内チラシ等郵送費 10,000円	50,000
使用料・賃借料	会場使用料5,000円×24回	120,000
食材購入費	400円/食×10人/回×24回	96,000
需用費	コップ、紙皿、ごみ袋代等	10,000
光熱水費	水道、電気、ガス代等	15,000
その他経費	書類・チラシ印刷費、新人スタッフ研修経費等	15,000
支出合計		546,000

※領収書等、活動の実績を
※必要に応じて、行を
※この様式により難い

本補助金以外に、行政や民間の補助金を受けている場合は、本補助金の対象経費として、重複計上しないよう、御注意ください（監査等で重複して補助を受給したことが明らかになった場合、補助金の返還等、厳正に対応いたします）。